



久工大だより

主要記事

1面 表紙・学長挨拶

2面 後援会会長挨拶・AI応用研究所

3面 新任教職員あいさつ

4面 コロナ禍における学科の取組み

5面 就職関係

6面 学年暦・ブランディング報告 他

第77号

発行・編集

久工大だより編集委員会

久留米市上津町2228-66

TEL(0942)22-2345(代表)

FAX(0942)21-8770

<http://www.kurume-it.ac.jp>

学長挨拶

令和2年の年が明けて間もなく、私たちは新型コロナウイルスという未知の感染症に遭遇しました。その後の経過はご承知のとおり、決定的な治療薬もワクチンもないまま感染は世界的な拡大に至りました。本学は、4月5日に予定していた令和2年度の入学式を、感染拡大を防ぎ可能な限り万全な態勢で新入生の皆さんを受け入れる環境を整えることを第一として、中止せざるを得ませんでした。学生にとって晴れの門出である入学式の中止は、痛恨の極みではありましたが、学部入学生405名、大学院修士課程入学生16名、3年次編入学生3名を受け入れることができましたことは、本学教職員一同、心からの慶びでありました。その後、感染拡大に伴い緊急事態宣言の発出を受け、これまで経験したことのないような事業等の休業要請により休業や縮小を余儀なくされた多くの企業が苦境に立たされていると報道されました。教育環境も例外ではありませんでした。臨時休校が続いた小、中学校では、教育の遅れが憂慮されています。そして高等学校、大学も含めて教育方法の模索が続いています。本学は、新型コロナウイルス禍、感染防止を念頭において、人材育成に遅滞が生じないように教育の質に配慮しつつ学部生・大学院生に対する遠隔授業を5月11日から開始しました。2018年度入学生から導入した必携PC制度は緊急時のスムーズな遠隔授業の着手に結びつきました。一方、対面授業が欠かせない実験・実習や研究は、安全面に最大限の配慮をしつつ、6月1日から開始しました。

緊急事態宣言の全面解除から1ヶ月以上が経とうとしていますが、感染拡大の第2波も懸念されており、出口の見えない経済の苦境はまだ続きそうですが、ワクチン開発にはなお時間を要するようです。本学は、ウイルスの存在を前提とした上で、通常のキャンパスライフを取り戻すべく、感染拡大の懸念の中にあっても教育・研究、サークル・社会活動、資格取得、就職支援等を続けるやり方(新常態)を大学の知恵と勇気を駆使して見出し、対応する所存です。

今後とも、引き続き学生教育の充実に努めて参りますので、更なる皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会会長挨拶

後援会会長
三浦 眞吾

後援会会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和2年度も引き続き後援会会長の大役を仰せつかることになりました、三浦と申します。

日頃から、保護者の皆様には後援会活動にご協力いただき大変感謝いたしております。

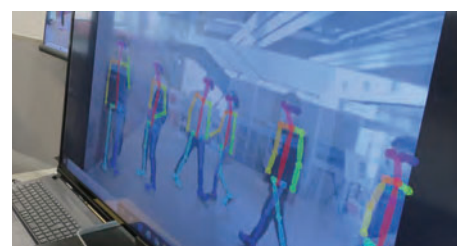
本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経験したことのない環境下で生活を送っている状況で、様々な行事が例年と違う形で行われ、当たり前に行えない事に心苦しさを痛感しているところです。

さて、この状況の中で、後援会としては学生たちが、安全・安心してキャンパスライフが送れるように尽力したいと思っております。

また、例年開催しておりました保護者懇談会は、本年度については中止と考えておりますが、何か別の方法で保護者の皆様情報をお届けできるように、大学にも検討していただいております。

最後になりますが、後援会活動への皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

久留米工業大学「AI 応用研究所」を設立しました



現在、人工知能(AI)の技術は有形無形様々な形で社会を支えています。今後人工知能は、地域社会のレベルで隅々に浸透し、ますます社会にとって重要になっていくでしょう。しかし、それに伴い人工知能、およびそれを下支えるデータサイエンス(データから有意な情報を数学的に取り出す科学)の分野で、深刻な人材不足が起こると懸念されています。このような背景から当AI応用研究所は、「AIによる地域課題解決」「AI技術者の育成」という、二つのミッションを持って設立いたしました。

■ AIによる地域課題解決

久留米地方や筑後地方の産業がかかえている課題に対し、AIというアプローチからの解決に挑戦します。そのため、日々進化する人工知能の最新動向を調査し、プログラミングやセンシング、通信・ネットワークなど様々なAI、IT、IoTに関連する技術を研究開発します。

■ AI技術者の育成

久留米工業大学の全学科を対象に、一貫したAI・データサイエンス教育のカリキュラムを作成し、実施します。またAIを学んだ学生と共に地域課題の解決を進めることで地域と学生とを繋げていきます。そのためAI教育担当として小田まり子教授(副所長)を招聘しました。今後、「AI概論」「AI活用演習」を中心に様々な授業でのAI教育を展開していきます。

AI応用研究所は100号館1階にあります。入口付近では最新の人工知能技術のデモを展示しています。まだ設立間も無いこともあり、所員一同何ができるか、どこまでできるか日々模索しつつ、様々なことに対しチャレンジ精神で挑んでいきたいと思えます。

AIに興味がある学生さんはもちろん、AIで解決できるかもしれない悩みをかかえている地域の皆さんも、ぜひ気楽にご訪問ください。



新任教職員あいさつ

専門分野

特別支援教育・A-Iリテラシ教育・人工知能

コメント

4月からA-I応用研究所に着任いたしました小田と申します。本学電子情報工学科、情報ネットワーク工学科教員として20年間お世話になった後、平成26年からの6年間、大阪の羽衣国際大学に勤務しておりました。この4月から再び、皆さまと一緒に仕事ができますことを幸いに存じます。今年度後期から始まる全学的A-Iリテラシ教育ではA-I基礎力のある学生を育成し、A-Iを用いた学生による地域連携活動に繋げていけるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



AI応用研究所
教授
小田 まり子

専門分野

システム工学、誘導制御、空力設計

コメント

本年4月1日付で、久留米工業大学に赴任いたしました。本学赴任前は、約40年間、航空宇宙関連企業で、人工衛星、無人飛翔体のシステム開発を担当いたしました。技術者生活で経験したシステム工学的思考、設計における留意点等を、航空宇宙産業を目指す学生の皆様にお伝えできればと思います。学生の皆様、卒業後に人生を充実させ、社会に貢献できるように、微力ながらご支援に努めますので、よろしくお願ひ申し上げます。



交通機械工学科
特別教授
片山 雅之

専門分野

学校教育全般

コメント

福岡県立高等学校で理科(化学)教諭及び校長として勤務しました。教員を目指す学生の皆さんの教育に関わることを大変楽しみにしています。教職を目指す学生の皆さんには、これまでにあこがれの教師との出会いや教えたという学問への興味・関心が動機としてあると思います。私は、様々な校種の学校や県教育行政での経験を生かし、教職を目指す一人一人の動機を大切にしながら、教員として必要な実践力を育てていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



共通教育科
特別教授
山田 和弘

専門分野

人工知能活用、自動運転

コメント

本年度4月からインテリジェント・モビリティ研究所に着任しました。人工知能の活用や自動運転について研究をしております。私立大学研究ブランディング事業に採択された先進モビリティ事業に基づき本研究所が研究・開発を進めている「パートナー・モビリティ」の自動運転システムの開発を本学大学院在籍時より担当しております。これからもパートナー・モビリティの開発を通して本学の発展に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



インテリジェント・モビリティ研究所
特任助教
服部 雄紀

コメント

4月より学生課に配属となりました松岡憲史と申します。大学では広告物を作成する団体の幹事を務め、学童保育のアルバイトを経験しました。そこで学生を始め様々な人々の成長に関わる仕事をしたいと思い、大学職員を志望しました。

現在新型コロナウイルスの影響により、多くの方が不安を抱えていると思います。新人の私にできることは限られています。が、ひとりでも多くの方の力になれるよう尽力いたしますのでよろしくお願ひいたします。



学生課
係員
松岡 憲史

コメント

本年度4月から施設管理課に配属となりました新川と申します。前職は、高等学校にて保健体育の教諭として勤めていました。体を動かすことがとても好きで、趣味としてウエイトトレーニングを続けています。野球部のコーチもさせていたくださうになりましたので、学生の皆さんに負けなように鍛えていこうと思っています。施設管理課の仕事は、右も左も分からずご迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。施設のことで困ったことがあれば、気軽に声をかけてください。



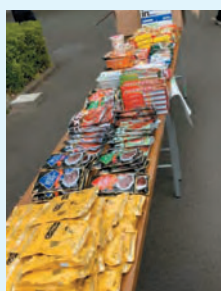
施設管理課
係員
新川 剛

新型コロナウイルス学生物資支援に向けた募金活動を行いました。

本学では、教職員有志一同で、本学の学生を支援する募金活動を行いました。

集まった支援金については、物資支援や今後も学生が安心して学生生活を送れるような活動に使用していきます。

募金額：820,000 円



コロナ禍における学科の取組み

と3年生は学内で実施する実習科目、4年生は卒業研究指導で直接教員と触れ合う機会があり、2年生についても必修科目の一部をオンライン授業にすることで、顔を見ながら教員と相談できる機会を設けています。顔を見ながら話すことで、メールでは相談しづらい日常生活での困りことも聞くことができています。

また、交通機械工学科の学びの醍醐味は「実際に航空機や自動車に触れて理解を深められる」ことです。実機や実車に触れて得られる「感動」は、遠隔授業では決して得られない「貴重な体験」です。そのため、前期に予定していた実習科目の一部を後期に移動し、皆さんが実機に触れる機会が失われないよう工夫しています。

コロナ禍においても、日常生活や社会経済を支えているのは「物流」と「人流」であり、それを担っているのが「交通機械（モビリティ）」です。学生の皆さんが、社会を支える使命感と「誇り」を持って大いに学べるよう、教員一同、全力でサポートいたします。



交通機械工学科
学科長

東 大輔

交通機械工学科
コロナ禍でも「誰も一人にさせたくない」という思いから、交通機械工学科では全ての学年で週に一度は直接教員と話ができる機会を設けています。具体的には、1年生

就職支援としては入学初年時より、ものづくりに関わる人材に欠かせない倫理教育を始め、学生個々の能力・適性に応じた進路選択を主体的に行うために、本学科の卒業生が参加するガイダンスを開催しています。これらを通じて、学科の教育上の目的と共に学科構成全教員が就職支援を行うための適切な体制を構築しています。

就職支援としては入学初年時より、ものづくりに関わる人材に欠かせない倫理教育を始め、学生個々の能力・適性に応じた進路選択を主体的に行うために、本学科の卒業生が参加するガイダンスを開催しています。これらを通じて、学科の教育上の目的と共に学科構成全教員が就職支援を行うための適切な体制を構築しています。

対面授業では、学生の安全確保を最優先に、クラス分けによる少人数教育とソーシャルディスタンスの確保、こまめな換気、マスクやフェイスシールド着用等の感染症対策を講じています。

就職支援としては入学初年時より、ものづくりに関わる人材に欠かせない倫理教育を始め、学生個々の能力・適性に応じた進路選択を主体的に行うために、本学科の卒業生が参加するガイダンスを開催しています。これらを通じて、学科の教育上の目的と共に学科構成全教員が就職支援を行うための適切な体制を構築しています。



機械システム工学科
学科長

澁谷 秀雄

機械システム工学科
本学科では、オンデマンド型とテレビ会議システムを用いたオンライン授業を実施し、プレゼンテーション等により学生の思考力・想像力を引き出すといった取り組みも行っています。

替えて実施しています（22科目中13科目がオンデマンド型遠隔授業。本学内で実施しなければならない講義（ハードウェア系の実習系授業や新入生のPCリテラシーに関する授業等）と自宅で受講学習できる授業を切り分けることで、感染リスクを極力避ける対策を取っています。

また各遠隔授業では、授業内容についての質問や問い合わせを随時、書き込めるWebページ等を準備し、従来の授業と同レベルの受講生への対応をおこなっています。

3年次に開講しているキャリア関連授業（就業力育成セミナー）では、オンデマンド型遠隔授業と6月以降の少人数による就業セミナーを組み合わせて実施しています。

4年生に対しては、各卒業研究担当教員と個別の連絡やGoogle Meet等を用いたオンラインによるゼミを随時、実施し、今年の難しい就職環境下での就職活動支援をおこなっています。



情報ネットワーク工学科
学科長

江藤 信一

情報ネットワーク工学科
情報ネットワーク工学科では、新型コロナウイルスの拡大防止のために、令和2年度前期の専門開講科目の多くをオンデマンド型の遠隔授業に切り

対面授業として実施しています。また、建築設計の授業においてもCADや画像ソフトの導入を図り、インターネットにより個別の学生への指導を行うとともに、建築模型製作の動画サイトを学生へ紹介するなどの方法をとっています。

また、卒業研究のゼミは、インターネットを活用した会議方式により行っています。

学生のキャリア支援として、3年生に「新米建築士の教科書」という若手建築士の実務内容を解説した書籍を配布しました。また、学生全員へ、建築家を集めたテレビ番組の情報をメールにより配信しました。4年生に対しては、インターネットを利用してエントリーシートや履歴書の添削を行うとともに、教員から企業へ求人を探ねて、大学のキャリアサポートセンターを通してその企業の情報を学生へ提供するなどの方法をとっています。

対面授業として実施しています。また、建築設計の授業においてもCADや画像ソフトの導入を図り、インターネットにより個別の学生への指導を行うとともに、建築模型製作の動画サイトを学生へ紹介するなどの方法をとっています。

また、卒業研究のゼミは、インターネットを活用した会議方式により行っています。

学生のキャリア支援として、3年生に「新米建築士の教科書」という若手建築士の実務内容を解説した書籍を配布しました。また、学生全員へ、建築家を集めたテレビ番組の情報をメールにより配信しました。4年生に対しては、インターネットを利用してエントリーシートや履歴書の添削を行うとともに、教員から企業へ求人を探ねて、大学のキャリアサポートセンターを通してその企業の情報を学生へ提供するなどの方法をとっています。



建築・設備工学科
学科長

満岡 誠治

建築・設備工学科
建築・設備工学科では、原則として授業形式の授業は全てインターネットによる遠隔授業であり、建築設計や工学実験などの実習形式の授業のみを



級友と一度も対面することなく日々パソコンの画面に向かって勉強する彼・彼女らに、少しでも学生生活を豊かにしてもらおうと、本学科ではZoomによるリアルタイムでの相互交流を模索しています。Zoomの機能であるグループ化によって毎回ランダムに組み合わせられた二人一組によるグループワークを実施した結果、友達が出来たという声が多く聞かれ、予想以上の成果を上げることが出来ました。制限の多い生活は続くと思えますが、本学科はアフターコロナの学生生活をサポートするための新たな企画を提案していきます。

また、教員を目指す4年生のために、模擬授業の指導も遠隔で実施し、現在実施が保留となっている教育実習に再開後対応できるよう指導しています。その他、キャリアサポートセンターと連携して就職の支援も継続的に行っています。



教育創造工学科
学科長

金井 政宏

教育創造工学科
新型コロナウイルスの影響により、全国で活動の縮小を余儀なくされています。教育創造1年生に対する授業はすべて遠隔授業により実施され、

就職関係

就職状況に関して

2021年3月卒業予定の学生の就職環境や動向は、新型コロナウイルスの影響を受け非常に厳しい状況にあります。合同企業説明会など就職イベントが軒並み中止、また4月中旬以降は政府の緊急事態宣言を受け、大学への入構禁止となったこともあり情報収集に苦戦している学生も全国的に増加しています。

5月末時点での就職内定率は48%、前年同期比で13.8%減になっており、新型コロナウイルスの影響はかなり大きくなっています。これは「採用活動を一時的に中断する」企業が34.6%にも及んだ影響もあると思います。本来4月、5月は選考から内々定出しのピークを迎える時期ですが、多くの企業で採用計画に狂いが生じています。一方で「これまで通り採用活動継続する」企業は15.1%、「Webを活用して採用活動継続する」企業も34.2%と約半数の企業は新しい採用手法やツールを活用しながら採用活動を継続しています。

「Web面接」を導入している企業はかなり増加しましたが、企業側は実際に学生と直接会って話したいというのが本音です。このように厳しい状況ですが、66.1%の企業が採用計画数は変更しないと方針を打ち出しています。業種によっては採用縮小や採用中止を余儀なくされていますが、多くの企業が「2021採用は長期戦」を視野にいれています。学生も長期戦を視野に入れ、活動していくことが必要です。

現在、キャリアサポーターセンターは面接練習、履歴書やエントリーシートの添削はWebでも行っています。また学生、企業の双方の話も聞いて個別のマッチングも積極的に行っています。このような厳しい時期だからこそ、「個別の丁寧な対応」というキャリアサポーターセンターの大きな強みを活かして全力でサポートしていきますので、共に乗り越えて内定を獲得しましょう！

インターシップ

就職活動の始まりは「インターシップ」であるというところはほとんどの学生が認識していることであり、企業側の常識にもなっています。今年は新型コロナウイルスの影響で2022年卒向けのインターシップイベントも中止になり、インターシップもWebで実施することを検討している企業も出てきています。

2021採用においてインターシップに参加した学生の多くは、新型コロナウイルスの影響をほぼ受けることなく内定を獲得している状況です。またインターシップで多くの学生にアピールできた企業も新型コロナウイルスの影響をほぼ受けることなく採用活動が順調に進んでいる状況です。企業はインターシップに参加した学生に対してはかなり早い時期から選考を進めていくので、世間が新型コロナウイルスで採用活動を一時中断する前に採用活動を終えたということになります。

今回の新型コロナウイルスが採用活動に及ぼした影響、またいつ何が起こるかわからないということも企業側は改めて痛感しており、「早期選考の重要性」「インターシップへの注力」によりシフトしていくという声も聞かれています。2022年卒の学生はこの夏から秋にかけてのインターシップが就職活動の第一歩になります。企業がインターシップに注力していく以上、学生もインターシップに注力しなければいけません。内定者の7割がインターシップに参加学生になったという企業も出てきている状況です。このことが、どれだけ有利に働くのかということは一目瞭然です。とにかく興味のある企業のインターシップに1社でも多く参加することが、内定獲得の近道になることは間違いありません。



進路決定者の声

内定先…オルガノ株式会社



工学研究科エネルギーシステム工学専攻 2年

上 山 駿

(熊本県立玉名高等学校)

私は約1年間の期間を経て就職活動を終えました。インターシップを含めた本格的な活動は約6ヶ月ほどですが、それまでの約6ヶ月間は自己分析と業界・企業研究を日々の大学院研究と平行して行っていました。よく言われていることですが、就職活動においてこの2点は非常に重要であったと感じています。

自己分析について、企業の採用活動においても重視されるものですが、自己分析を自発的・積極的に行う人は少ないと思います。そこで私は給付型奨学金への申請を活用しました。これは結果的に自己分析の役に立ったという形なのですが、これにより前もって自己分析が行えたと思います。また業界・企業研究に関しては、業界地図や大学求人参考になりました。このような準備を経て、私は就職活動に臨んでいました。選考についての結果は時の運とも言われていますが、ある程度の結果は自分自身で手繰り寄せることも可能ではないかとも感じました。

内定先…ダイダン株式会社



建築・設備工学科 4年

古 閑 愛理

(熊本県立鹿本高等学校)

インターシップや履歴書、面接など就職活動において行うことは沢山ありますが、私は分析することが大切だと感じました。

3年次に参加したインターシップで、自分の考えをしっかりと伝え、質問する学生が多くいるのを目にしました。全国に学生がいるなかで就職活動をより良く進める為には、自分を分析し表現することが重要だと思いました。それから自己分析に取り組み、アルバイトや部活動の経験などを振り返りました。これまでの経験を振り返る自己分析をしたことで、履歴書も要点をまとめて書くことが出来ました。また、初めは全く話せなかった面接でも伝えたいことが明確になり、自信を持つことが出来るようになりました。

自己分析は普段あまりしないと思いますが、今興味があることや気になる仕事などをまとめていくことは、1・2年次からでも取り組みやすく、就職活動に生かすことが出来るのではないかと思います。

2019年度の主な就職先

機械システム工学科

大和冷機工業株式会社 大阪富士工業株式会社
株式会社九電工 株式会社瑞光
西日本プラント工業株式会社 パナソニックシステムエンジニアリング株式会社
株式会社日立産業制御ソリューションズ 株式会社VSN
株式会社サガテック センテラルエンジニアリング株式会社
田中鉄工株式会社 他
株式会社アルトナー

交通機械工学科

ダイハツ工業株式会社 尾道造船株式会社
株式会社ホンダロック 今治造船株式会社
福岡トヨタ自動車株式会社 JR九州エンジニアリング株式会社
一般財団法人日本自動車連盟(JAF) 日本貨物鉄道株式会社九州支社
株式会社日野ヒューテック 株式会社九電工
スズキ株式会社 九州日野自動車株式会社
三菱自動車工業株式会社 ヤナセ福岡営業本部
福岡日産自動車株式会社 他

建築・設備工学科

日比谷総合設備株式会社 共立建設株式会社
新日本空調株式会社 ダイダン株式会社
大和ハウス工業株式会社 飛鳥建設株式会社
新菱冷熱工業株式会社 公益(財)佐賀県建設技術支援機構
一建設株式会社 三機工業株式会社
株式会社三晃空調 若築建設株式会社
株式会社大気社 日本建設株式会社
高砂熱学工業株式会社 株式会社鴻池組 他

情報ネットワーク工学科

株式会社エージェック 京セラコミュニケーションシステム株式会社
久留米情報システム株式会社 株式会社アウトソーシングテクノロジ
株式会社テクノプロ・デザイン社 株式会社三協協イオス
株式会社ユー・エス・イー 株式会社ホンダテクノフォート
株式会社アルファシステムズ 三菱電機システムサービス株式会社
株式会社イーテック 株式会社メイトックフィルダース
株式会社VSN パーソナルR&D株式会社 他

教育創造工学科

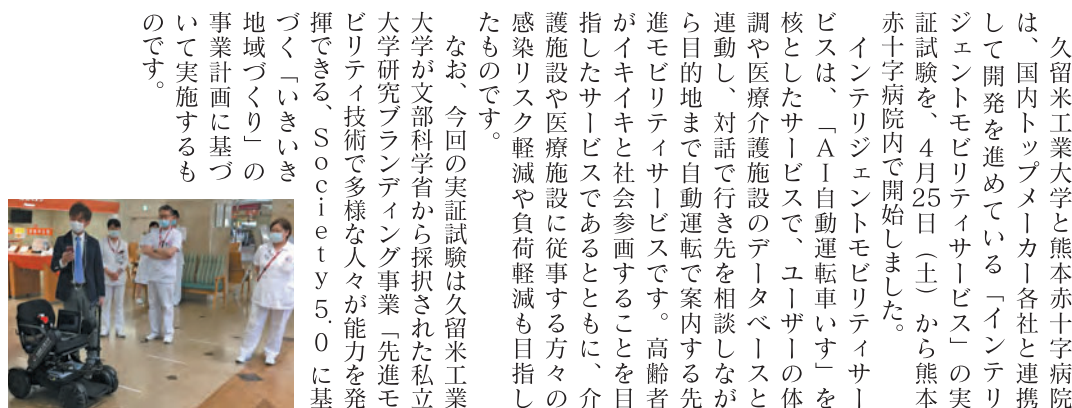
つくば開成福岡高等学校 防衛省 自衛隊
福岡市立中学校常勤講師 株式会社コスモス薬品
北九州市立中学校常勤講師 株式会社ユーコー
山陽小野田市立中学校常勤講師 株式会社Birth47
久留米市立中学校常勤講師 株式会社テクノプロ・デザイン社
みやき町立中学校常勤講師 株式会社セレッツ
中津市立中学校常勤講師 株式会社西日本宇佐美 他

大学院

株式会社ホンダテクノフォート スマートインプリメント株式会社
株式会社マーレフィルターシステムズ 阪神内燃機工業株式会社
日精株式会社 ソニーセミコンダクタマニユ
株式会社ニクニ ファクチャリング株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社 久留米工業大学
株式会社シーアールイー 他

学 年 曆

前期	
在学生履修登録	4 / 1(水)～8(水)
前期授業開始(遠隔授業)	5 / 11(月)
履修登録変更及び取消期間	5 / 25(月)～27(水)
月曜日の授業を実施	5 / 16(土)
火曜日の授業を実施	5 / 23(土)
水曜日の授業を実施	5 / 30(土)
木曜日の授業を実施	6 / 6(土)
金曜日の授業を実施	6 / 13(土)
月曜日の授業を実施	6 / 20(土)
火曜日の授業を実施	6 / 27(土)
水曜日の授業を実施	7 / 11(土)
木曜日の授業を実施	7 / 18(土)
通常授業(海の日)	7 / 23(木)
通常授業(スポーツの日)	7 / 24(金)
金曜日の授業を実施	7 / 25(土)
授業予備日	7 / 26(日)
履修取消期間	7 / 27(月)～31(金)
月曜日の授業を実施(面接授業)	8 / 8(土)
火曜日の授業を実施(面接授業)	8 / 15(土)
水曜日の授業を実施(面接授業)	8 / 22(土)
授業予備日(面接授業)	8 / 29(土)
前期末試験	8 / 31(月)～ 9 / 4(金)
夏季休業日	9 / 8(火)～23(水)
後期	
後期授業開始	9 / 24(木)
履修登録変更及び取消期間	10 / 6(火)～8(木)
授業予備日	10 / 10(土)
大学祭	10 / 17(土)～18(日)
履修取消期間	11 / 16(月)～20(金)
月曜日の授業を実施	12 / 24(木)
冬季休業日	12 / 25(金)～ 1 / 7(木)
授業開始	1 / 8(金)
臨時休業日	1 / 15(金)
授業予備日	1 / 24(日)・27(水)
後期授業終了	1 / 26(火)
学年末試験	1 / 28(木)～ 2 / 2(火)
後期末試験予備日	2 / 5(金)
後期追・再試験	2 / 12(金)～16(火)
学位記授与式	3 / 19(金)



久留米工業大学と熊本赤十字病院は、国内トップメーカー各社と連携して開発を進めている「インテリジェントモビリティサービス」の実証試験を、4月25日（土）から熊本赤十字病院内で開始しました。

インテリジェントモビリティサービスは、「AI自動運転車いす」を核としたサービスで、ユーザーの体調や医療介護施設のデータベースと連携し、対話で行き先を相談しながら目的地まで自動運転で案内する先進モビリティサービスです。高齢者がイキイキと社会参画することを目指したサービスであるとともに、介護施設や医療施設に従事する方々の感染リスク軽減や負荷軽減も目指したものです。

なお、今回の実証試験は久留米工業大学が文部科学省から採択された私立立大学研究ブランディング事業「先進モビリティ技術で多様な人々が能力を発揮できる、Society 5.0に基づく「いきいき地域づくり」の事業計画に基づいて実施するものです。



A group of people, including men and women of various ages, are standing in a line outside a building with a grey, textured facade. They are waiting for a service, likely a food distribution or a community event. The people are dressed in casual clothing, and the scene is set in an urban environment.

遠隔授業事例動画

5月11日より開始しました遠隔授業の一部をご紹介します。

「2次元コンピュータグラフィックス」画像処理の授業動画

「3次元コンピュータグラフィックス」物理シミュレーションの授業動画

コンテンツワークエ学科のビジュアルコンテンツコースの専門教育科目の事例